

協定締結のごあいさつ



本部町長
高良文雄

「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市」小郡市におきまして、昨年11月26日「友好のまち」協定締結式を盛大に終えましたことは、この上ない喜びであります。海を隔てた小郡市、本部町、みい青年会議所、本部町商工会青年部の四者によって未来に向けて幅広い分野で交流を続け、誇りある郷土の発展を願い、友好のまちとして固く誓うこととなります。

児童交流からスタートした取組が、行政間で「友好のまち」協定として締結に至りましたことは、交流事業に携わった関係者の熱意とご尽力の賜物であり、心から敬意と感謝を申し上げます。その思いを、次の世代に繋げ、身近な友人としてさらなる地域間交流、民間交流の力として、蓄積されるよう交流を推進してまいります。



本部町商工会
青年部長
島袋耕平

この度は小郡市・本部町「友好のまち」協定締結式を無事に終えられましたことを心よりお祝い申し上げますと共に、今後の産業や教育交流などとおし両自治体のさらなる発展を祈念いたします。

わが本部町と小郡市の歴史はみい青年会議所(当時小郡青年会議所)本部町商工会青年部(当時本部青年会議所)が取り持つ少年の船事業とおして37年に及ぶ交流を続けて参りました。その間、本部青年会議所の解散・消滅の紆余曲折はありましたが、その礎を築かれた交流当初の先輩方には改めて敬意を表したいと思ひます。

結びになりますが、今後小郡市並びに本部町が限りなく発展することをお祈り申し上げますと共に、数々の関係各位のご活躍を祈念申し上げ祝辞といたします。

この度は、小郡市・本部町「友好のまち」協定締結式が滞りなく終えたことを心よりお祝い申し上げます。小郡市・本部町・みい青年会議所・本部町商工会青年部、民と官が手を取り、今後互いに協力し切磋琢磨していくことでしょう。我々商工会青年部は、青年という立場で自由な発想と地元発展のために若い力を生かそうということで日々活動していきます。小郡市と本部町の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本部町商工会青年部前部長 宇根真一

昨年11月26日に小郡市・本部町・みい青年会議所・本部町商工会青年部の四者で「友好のまち」協定が締結できましたこと、小郡市長として光栄この上なく、胸に迫る思いでございます。

1981年にはじまりました少年の船事業に端を発し、その後37年もの長きに渡る交流を礎にして、締結された「友好のまち」協定。これまで民間交流の取組を続けて来られている皆さまに改めて感謝申し上げます。

小郡市としましても、魅力あふれる本部町との青少年交流や民間交流がこれからも永く続いていくように支援していくとともに、新たに目覚めつつある物産交流が発展していくように支えていきたいと考えております。

そして小郡市の住民の皆様が、第二の故郷は本部町だと思えるような交流の取組をこれから進めてまいります。

37年前に始まった小郡三井少年の船がきっかけで本部町との交流が始まり、2013年には本部町商工会青年部と我々みい青年会議所が協力協定を結び、より一層交流が深まりました。そして今回、小郡市・本部町・みい青年会議所・本部町商工会青年部の四者で「友好のまち」協定を締結することができました。この協定締結は決してゴールではなく、新たな歴史を刻むスタートとして、今まで以上に本部町商工会青年部と我々みい青年会議所が友好関係のさらなる強化と両市町の飛躍と発展に貢献しなければならないと感じております。

最後になりますが、締結までにご尽力いただきました本部町の高良町長、小郡市の加地市長はじめ行政の方々に心から感謝申し上げます。

2013年に本部町商工会青年部と我々、みい青年会議所が協力協定を結んでから4年間の青年同士の交流が身を結び、本部町と小郡市の行政間の「友好のまち」協定に繋がったことに大変驚いております。また、我々の交流を4年間温かく見守っていただき、英断をくだしていただいた本部町の高良町長をはじめ行政の皆様にも心から感謝いたします。これからも青年らしい、交流を続けて、両都市の発展に寄与していきたいと思ひます。

みい青年会議所2013年度理事長 田 箆 憲 司



小郡市長
加地良光



みい青年会議所
2017年度理事長
手嶋義登



もとぶちょう **沖縄県本部町と 「友好のまち」協定を締結しました**

▲(写真左から)島袋耕平本部町商工会青年部長、加地良光小郡市長、高良文雄本部町長、手嶋義登みい青年会議所理事長



▲協定書と本部町から協定締結記念に送られたシーサー

昨年11月26日、生涯学習センターで「友好のまち」協定締結式を開催し、小郡市・沖縄県本部町・みい青年会議所・本部町商工会青年部の四者で「友好のまち」協定を締結しました。本部町から町長をはじめ9人に出席いただき行われた「友好のまち」協定締結式では、市長、町長、みい青年会議所理事長、本部町商工会青年部長が、「友好のまち」協定書に署名しました。



本部町の桜まつりで 協定締結を報告！

1月20日、本部町で開催された桜まつりで、市長が「友好のまち」協定締結の報告を行いました。また、パレードや鏡開きなど町民との交流活動にも参加しました。

美ら海水族館などがあり、年間400万人の観光客が訪れ、アセローラやタンカンなど特産品も豊富な本部町。協定では、観光や産業をはじめ、経済、教育、文化など幅広い分野での交流を通して発展、連携を深めていくことや災害時に相互に復興協力することを約束しました。

広報おごおり H30・2・1 4